

aobana

あおばな

2016
月号
(第36号)

Summer

くさまるくんを探せ!!



ボクが3人かかっているよ!
さがしてみてネ!!



理
念

誠心誠意を尽くし、一隅を照らす光のごとく
人々に幸せをもたらす医療を行う

基本方針

- 1 患者さんの権利と意思を尊重し、心の通う医療を行います
- 2 十分な説明と同意のもと、患者さん主体の医療に努めます
- 3 高度で最善の医療を、いつでも安全に提供します
- 4 地域に密着し、他の医療機関と連携し、中核病院としての役割を果たします
- 5 多職種間の協働と情報共有を密にし、円滑なチーム医療を推進します
- 6 職員の教育・研修を充実し、モチベーションを向上させ、良質な医療スタッフを育成します

特集

頭頸部の がん

がん治療

化学療法に関するQ&A

追悼 小山茂樹先生を偲んで



頭頸部外科
左：医員 武信真佐夫
中央：医員 森崎剛史
右：部長 森谷季吉

社会医療法人 誠光会
草津総合病院

〒525-8585 滋賀県草津市矢橋町1660 TEL 077(563)8866(代)
<http://www.kusatsu-gh.or.jp>

介護老人保健施設 草津ケアセンター
〒525-0027 滋賀県草津市野村2-13-13 TEL 077(567)1122 FAX 077(567)2085
<http://www.kusatsu-gh.or.jp/newhp/f-care.htm>

草津看護専門学校
〒525-0066 滋賀県草津市矢橋町1824 TEL 077(516)2567
<http://www.kusatsu-ac.jp/>



facebook

頭頸部

とう

けい

ぶ



のがん

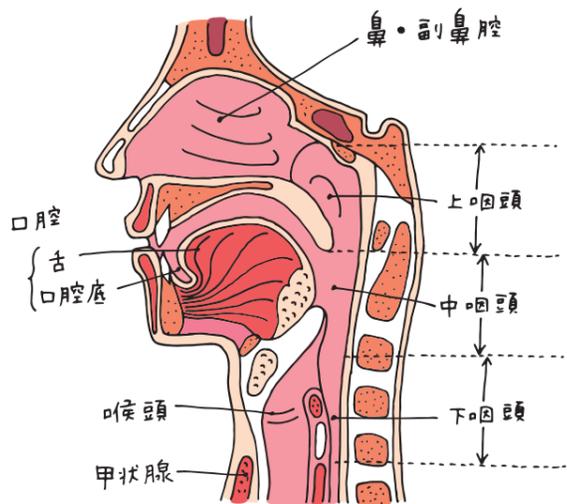
頭頸部について



外来診療中に患者さんから、『頭頸部外科って、どんな病気を診てはるんですか?』と聞かれることがあります。『頭頸部外科って聞きなれない診療科ですが、名前の通り頭から首までの病気を診る診療科です。脳は脳神経外科、目は眼科が専門ですから、それら以外の部分、例えば鼻やのど、声に関係する声帯や気管なんかの病気です。扁桃炎や蓄膿の方も多いですが、この辺りのがんの治療を主にしています。』と説明します。すると大概、『へえ、こんなところにもがんができるんですか?』と言われるます。『頭頸部』と『がん』は、イメージとして結びつかないようです。そこで、『有名人では、歌手のつんくさんが喉頭がんで手術されていますね。』とお話しすると、『あ〜っ。なるほど。』といったように、つんくさんの病気を通して、『頭頸部』と『がん』のつながりが少しできることがあります。

『頭頸部』とは、首から上の構造の総称で、英語の Head and Neck を訳したものです。頭から首にある構造物の全てが含まれます。その中で脳神経外科や眼科また歯科が専門とする脳や眼球、歯を除いた構造物、具体的には、鼻や副鼻腔、咽頭や喉頭、気管や食道(頸部)、甲状腺などを治療の対象としています。頭頸部外科では、これらの部分の良性・悪性腫瘍、炎症性疾患、外傷などに対する手術を行っています。

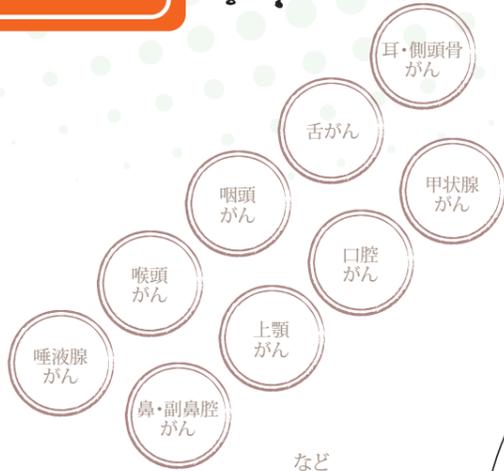
頭頸部 Head and Neck



頭頸部がんの種類と頻度



『あまり見かけませんがんではないですが、出来る部位や種類も多彩で、たちの悪さも違う』



頭頸部は、頭から首までの部分で、さらに脳や眼球、歯を除くため、比較的小さな範囲です。しかし、この小さな範囲にできるがんは、舌がんを含む口腔がん、咽頭がん、喉頭がん、上顎がんなどの鼻・副鼻腔がん、唾液腺がん、耳・側頭骨がん、甲状腺がんなど多彩です。また、これらの頭頸部がんは、それぞれのがんのできた部位によって、その性格が大きく異なり、症状やがんの悪性度(たちの悪さ)もさまざまです。また頭頸部がんは、日本人に多い、胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がんといった5大がんと比べて、罹患率(病気になる

頻度)が低いことも特徴です。2011年の全国推計値(国立がんセンターがん対策情報センター)によると、人口10万人に対して代表的な頭頸部がんのうち、口腔咽頭がんは12・3人、喉頭がんは3・5人で、全てのがんの5%程度と考えられています。最も罹患率の高い胃がんの2011年の全国推計値は、人口10万人に対して103・3人(男性では1位、女性では乳がん、大腸がんに続く3位)でしたので、頭頸部がんの頻度が低いことがわかります。

頭頸部がんの特徴

『人が人間らしく生きていくために必要な器官が治療の対象』

頭頸部には、聴覚、視覚、嗅覚、味覚、触覚といった五感や、咀嚼(かみくだく)、嚥下(飲み込む)、発声、構音(言葉を作る)、呼吸など生活に直結する非常に重要な機能が集中しています。頭頸部外科では、人間らしく生きていくうえで大切なこれらの器官を治療の対象としています。また、これらの器官は身体の中でもっとも目につく頭部・顔面・頸部に位置するため、頭頸部がんの治療に当たっては、病気の根治、機能の回復だけではなく美容形成的な観点も必要とされます。



頭頸部がんの危険因子



『タバコやお酒、ウイルスが関係している』

頭頸部がんの多くは中高年の男性に発症します。発症には喫煙や飲酒が大きく関わっていることがわかっています。また、一部の頭頸部がんの発症にはウイルスが関与しています。上咽頭(鼻からのどのつなぎめ)がんに対するEBウイルス、中咽頭がん(扁桃腺のがん)に対するヒトパピローマウイルスがそれにあたります。更に頭頸部がんは、肺がんや食道がんなどの他の部位のがんと重複して発生しやすいことも知られており、頭頸部がんにかかれた患者さんは、他の部位にがんがないかを定期的に検査することが必要です。

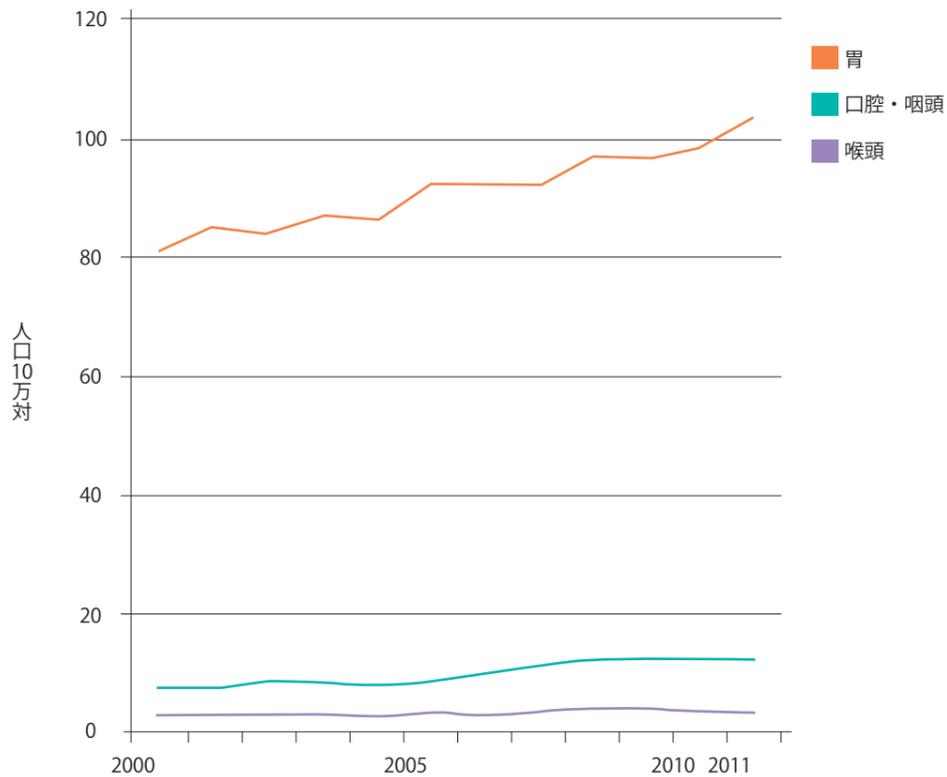
治療について(概要)

『頭頸部がんの治療には、手術療法、放射線療法、化学療法がある』

頭頸部は小さな範囲ですが、非常に多くの器官があり、様々な種類のがんができます。口やのど、鼻などの粘膜より発生するがんの多くは扁平上皮がんという種類のがんで、頭頸部がんの多くを占めます。頭頸部は狭い範囲の中に、それぞれの部位が密に接しているために、ひとつの部位にできたがんは、進行と共に他の部

位に容易に広がります。また、がん細胞はリンパの流れにのって、首のリンパ節に転移しやすいことも特徴です。進行がんでは、全身に転移(遠隔転移・肺転移が多い)することもあります。がんの進行の程度によって、適切に治療法を選択する必要があります。頭頸部がんの治療には、手術療法、放射線療法、化学療法があります。小さながんでは手術療法や放射線療法のみで治療が期待できますが、進行したがんでは、これらを組み合わせ合わせた治療を行います。化学療法(抗がん治療、最近では分子標的治療というものもあります)単独では、現在のところがんを完全に治癒させることはできませんので、化学療法は手術療法や放射線療法に組み合わせで行われます。

部位別罹患率(全国推計値) 年次推移 [男女計、全年齢]



資料：国立がん研究センターがん対策情報センター



治療について(機能温存)

『頭頸部がんの治療では、
治療することと共に
機能の温存が大切』

機能温存 機能再建



喉頭全摘後の頸部の状態、永久気管孔。
声は出ない。この孔より呼吸をするため、
鼻での空気の流れができないので、臭いもしない。

頭頸部がんの特徴の項で少しふれましたが、頭頸部には人間らしく生きていくうえで非常に重要な機能が集中しています。頭頸部がんの治療では、がんを治すことが大切ですが、同時にこれらの機能をできる限り残す(機能温存)もしくは作り直す(機能再建)ことが、治療の重要な課題となっています。がんの進行度や患者さんの状態以外にも、患者さんの社会的な背景は、どの治療法が最適なかを選ぶうえで重要な要素となります。

治療による機能の障害をイメージすることが難しいですが、例えば舌がんで、舌を大きく切除した場合に、うまく言葉が話せない、またうまく飲み込めない、飲み込むとむせるなどの障害が起こることがあります。また、喉頭がんで、喉頭(のど仏)の摘出手術を行った場合には、声が出せない、臭いがしないなどの障害が起こります。また首に気管の孔(気管切開孔)が開くこととなります。

治療(手術療法・放射線療法・化学療法)

『手術療法』は、がんの切除や首に転移したリンパ節の切除を行う治療です。リンパ節転移のない小さながんでは、病巣の切除のみで治療が期待

療もよい面ばかりではなく、放射線による唾液腺障害(唾液がでないため)の口腔乾燥や、嚥下障害(飲み込みが悪くなる)などが永続することによる誤嚥性肺炎などが問題となっています。

標的とする薬です。例えるなら、抗がん薬が絨毯爆撃でがん細胞も正常細胞も関係なくダメージを与えるのに対して、分子標的薬はがん細胞のみをピンポイントでダメージを与える薬です。しかし、ピンポイントでがん細胞を攻撃するからといって、副作用がないわけではありません。現在のところ、どちらの薬も単独の治療では、がんを治すことはできません。手術療法の前に行う方法(術前

化学療法)や、放射線療法と同時にを行う方法、また手術では取りきれない再発がんや遠隔転移に対する治療として用いられます。術前化学療法は、機能温存を目指した手術を行うための治療です。また放射線療法との併用には、抗がん薬と分子標的薬のいずれもが用いられます。分子標的薬は比較的新しい薬のため、どのような患者さんに用いることが最も適切かについては、まだ明らかではありません。

頭頸部外科部長

もりたに すえよし
森谷 季吉

学会専門医・認定医:

日本耳鼻咽喉科学会認定専門医
日本気管食道科学会認定専門医
内分泌・甲状腺外科専門医
頭頸部がん専門医
日本がん治療認定医

Dr. 紹介



当科は頭頸部がんの治療を行う専門施設です。頭頸部がん治療の2つの柱である手術療法と放射線療法に精通しています。再発腫瘍に対しても、積極的に手術を、可能なら機能温手術も行っています。また、セカンドオピニオンにも対応しております。



小山茂樹先生を

偲ぶ



小山茂樹先生は、平成28年4月29日夜、突然我々を残して旅立ってしまわれました。現在2ヶ月が過ぎ去りましたが、全ての職員は、現在でも先生の急逝の訃報が信じがたく、深い悲しみと、大きな喪失感を感じています。あの古武士のような風貌の先生の歩く姿が、もう見えないかと思うと、更に悲しみがつのります。

小山茂樹先生は、滋賀医科大学 消化器・血液内科の創生期にご活躍をされた後、平成18年から本院の消化器内科部長・内視鏡センター長として赴任され、約10年間、消化器内科専門医として、また素晴らしい技能を有する内視鏡専門

医として目覚ましくご活躍され、多くの患者さん、ご家族の皆様から信頼され慕われていました。

私が誠光会理事長に着任後約2年となりましたが、先生は副理事長として誠光会医療・介護活動を熟知され、多くの現場の問題についてご助言いただき、順調に改革が進んでいるところでした。先生は大変な読書家で、よく私に、各種分野の興味ある話題の本を紹介していただきました。草津看護専門学校での講義で、総合医療論を私が担当していたのですが、医の倫理、尊厳死と延命医療、医療安全、インシデント報告と医療事故、在宅ケア、緩和ケア、インホームド

コンセントと医療情報開示など医療の本質にかかわる講義を2年目から肩代わりを行っていたいただきました。授業内容のプリントは、深い洞察と非常に理解しやすい内容となっていて感心致しました。今でも、大切にファイルし、保存しています。小山茂樹先生は、更に、平成27年1月に受審した日本医療機能評価機構の受審準備委員長として陣頭指揮をとられ、一般病棟、慢性期病棟共に条件なしの優秀な成績で合格となりました。更に、平成27年7月から本格的に準備した本院電子カルテの新規更新事業の委員長として困難な事業を完成していただきました

た。本当にご苦労様でした。常に私と一心同体で病院運営にお力を戴き、多くの病院改革が達成されました。先生を失ったことは、何にも代えがたい大きな損失でありま

す。
小山茂樹先生が目指された理想の医療をさらに発展させることをお誓いし、先生の安らかなご冥福をお祈り申し上げます。

社会医療法人誠光会 理事長

柏木厚典

小山茂樹先生の教え

平成28年4月30日 未明、「小山先生が亡くなりました」と病院からの連絡がありました。あまりにも突然の訃報にてには信じられませんでした。現在、先生の急逝から2ヶ月が経過し、消化器内科の業務も整理がつき、過去を振り返る余裕も少しできました。消化器内科診療、内視鏡検査の手法については先生から沢山のことを教わりましたが、皆様には医療そのものに対する小山先生の教えをご披露したいと思います。

「迷ったらやれ」

「内視鏡医である前に、消化器内科医であれ。消化器内科医である前に内科医であれ」

「お前が、この病院の最後の砦だと思ってやれ」

言葉の解釈は皆様にお任せしますが、先生の医療に対する真摯な姿勢を示すものと考えます。

最後に小山先生が当院に着任されたときの言葉をご紹介します。

「中村君、僕が年を取って衰えたとしても、内視鏡だけは取り上げんといてくれ、僕は死ぬまで内視鏡をしてみたいんや」

その言葉のとおり、先生はなくなる直前まで内視鏡を握っておられました。

小山先生お疲れ様でした。これからも私たちを見守ってください。

消化器内科 部長

中村文泰



小山先生の突然の訃報から、早いもので2ヶ月が過ぎようとしています。病院内でも一日の大半を過ごされていた内視鏡センターには、あちこちに在りし日の足跡が残っていて、今にもドアを開けて入ってこられるような気がします。昼食も摂らず常に検査や会議を優先され、白衣を翻して出て行かれる姿を思い出し、もう少しご自身の体調を気にしていただく方法はなかったのかと思うと、悔やまれてなりません。

小山先生が平成18年にこの病院

に来られてから、当時はまだ検査件数もそれほど多くなかった内視鏡センターも、現在では年間7,000件を超える規模に成長しました。私たち看護師にとってこの10年間は、検査件数の増加に伴い業務量も増え続け、目まぐるしく働く日々でした。多忙を極める中、どんなに困難な症例にも悠然と構えて対応され、時には冗談を交えて私たちを和ませ、一日の終了には必ず「ごころうさん」と声をかけられる。そんな小山先生だからこそ、一緒に走り続ける事

ができたのだと思います。

姿なき今、改めて存在感の大きさを感じています。これまでの小山先生のご厚情に心より感謝し、ご冥福をお祈りいたします。

外来Bチーム 看護師長

枝本栄子



Q1 化学療法って何？

がんの治療には手術療法・放射線療法・薬物療法などがあり、薬物療法には抗がん剤を用いる化学療法、ホルモン療法、免疫療法があります。がんの化学療法とは、がん細胞を攻撃する抗がん剤を使って行う治療のことです。抗がん剤は、がん細胞の増殖を抑えたり、死滅させる効果があります。手術後がんが再発しないように、またがんの症状をやわらげ、患者さんそれぞれが自分らしい生活を送れるように、抗がん剤を使った治療を行います。



Q2 化学療法ってどんな風にするの？

看護師により薬剤の注射をします。化学療法中の異常を早期に発見できるように看護師が見回りますので、治療中はリラックスしてお休みください。ご家族のかたに付き添っていただくこともできます。医師、薬剤師および看護師によるミーティングを行い、初めての患者さんには薬物療法の計画表、投与量、投与速度を再確認し、2度目以降であれば、前サイクルでの副作用の有無、注意点をチェックし、安心・安全に治療を受けてもらえるよう努めています。

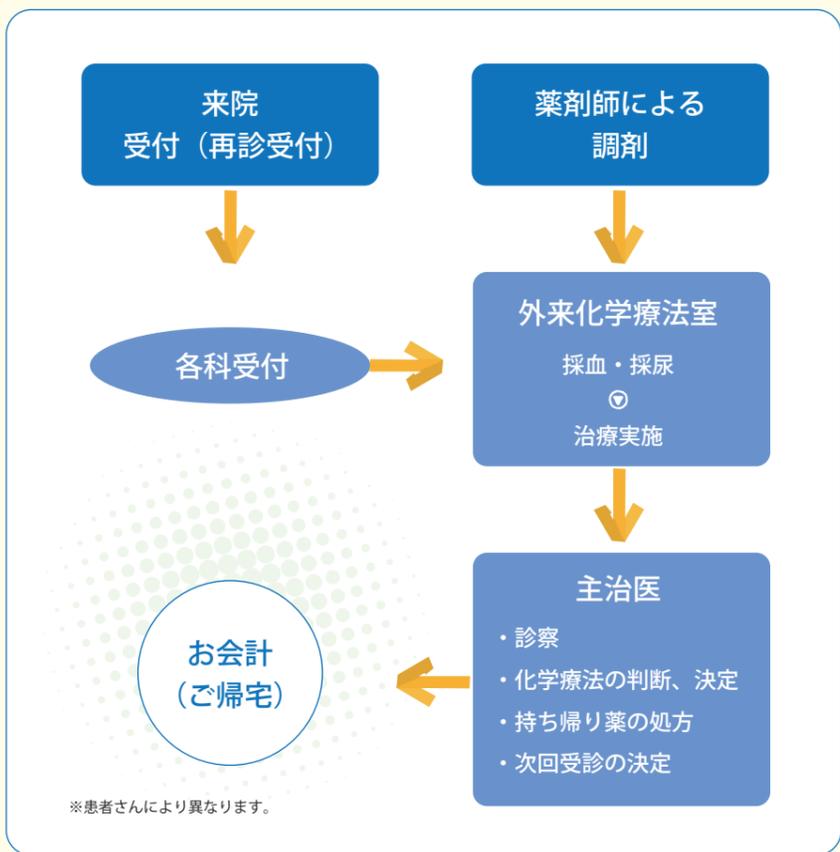
Q3 誰にでも実施できるの？

患者さんのがんの種類や体の状態などにより異なります。実施できる場合は、当日、外来化学療法室でまず採血などを行い、各診療科で主治医を中心に患者さんの全身の状態や検査データを確認し、化学療法実施の可否を決定します。主治医が実施可能と判断すると、抗がん剤の調製を開始します。



外来化学療法運営委員会 委員長
とがわ たけし
戸川 剛

外来化学療法の流れ



Q4 化学療法の副作用は？

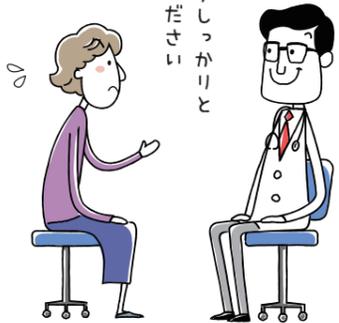
抗がん剤はがん細胞に対して効果がありますが、正常な細胞も傷つけてしまうため、副作用が生じます。副作用は、抗がん剤の種類や量などの違いや個人差によっても異なります。吐き気や脱毛などは良く知られていますが、その他に血液成分の減少、皮膚障害、末梢神経障害、肝機能障害や腎機能障害、胃腸障害、間質性肺炎、アレルギー様の急性反応などがあります。最近では副作用を予防したり、やわらげるための治療も進歩し、特に吐き気を抑制する治療は非常に高い効果が得られます。重篤な副作用を早期に発見して対処することが大切であり、つらい症状は我慢せずスタッフにしっかりと伝えてください。

Q5

化学療法の治療について、不安なことや詳しく聞きたいことがあるのですが…

当院では、がんの専門・認定資格をもつ看護師、社会福祉士によるがん相談窓口を設置しています。「治療の副作用について詳しく知りたい」「先生にうまく質問できなかったけど、○○って何だろう?」「医療費がどれくらいかかるのか心配…」など、がんに関する相談を無料でお伺いします。不安やお悩みについて一緒に考えましょう。相談は事前予約制となっておりますので、ご相談をされたい方はお電話にてお申し込みください。

我慢せずしっかりと伝えてください



077 (516) 2511
当院患者サポートセンター
おねがいします

もみじが丘診療所

診療科目 / 小児科・内科

〒520-2276 滋賀県大津市里6丁目19-16

TEL 077 (546) 3221



院長 立神 恭之



当診療所は、小児科診療を中心に、内科専門医（消化器、循環器、呼吸器、糖尿病内分泌）との二診制を採用しており、幅広い疾患に対応していきたいと考えています。

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:15 ~ 12:30	○	○	○	○	○	/
17:15 ~ 19:30	○	○	○	○	○	*○

休診：日・祝・午前（土曜）

※土曜午後診：14:00 ~ 17:00



かかりつけ医 をもちましょう



「かかりつけ医」は、患者さんやご家族の日常的な治療、健康管理を考えてくださる身近で気軽に相談できる地域のお医者さんです。草津総合病院では「かかりつけ医」との協力体制のもと、それぞれの診療分担を明確にして、患者さんの健康管理を地域全体で行い、安心して受診いただけるような地域医療連携を推進しています。

柴田クリニック

診療科目 / 内科・神経内科・外科・脳神経外科

〒524-0012 滋賀県守山市播磨田町3016-7

TEL 077 (582) 6207

HP <http://shibataclinic.com>



院長 柴田 修行



当院は、親切・丁寧は勿論のこと、正確な診療、疾患に関しての十分な説明を診療のモットーとし、身体だけでなく、心も健康になる診療を心がけております。

診療科目は、呼吸器循環器系の疾患を中心に胃腸系疾患、肝臓疾患、糖尿病をはじめとした代謝性疾患を含め、内科全般にわたります。

また、外科系疾患にも経験が豊富ですから、外来小手術をはじめとした処置を行えます。

糖尿病や高血圧、コレステロールでのお悩みの方もお任せください。

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00 ~ 12:00	○	/	○	○	○	○
18:00 ~ 20:00	○	/	○	/	○	/

休診：日・祝・火曜日・午後（木曜・土曜）



健康応援

Recipe

豚肉と大豆製品で、
上手に夏バテを予防しよう！



NO.14

豚肉のしょうが焼き

エネルギー : 355kcal

塩分 : 1.5g

材料 (2人分)

- 豚のロース肉…120g
- たまねぎ…1/2玉
- 油…大さじ1
- キャベツ…2枚
- トマト…1/2個
- マヨネーズ…大さじ1+1/3
- 醤油…大さじ1
- みりん…大さじ1
- 酒…大さじ1
- おろししょうが…小さじ1



作り方

- 1 たまねぎは薄切りにする。添えのキャベツは千切りに、トマトはくし形切りにする。
- 2 フライパンに油を熱し、豚肉とたまねぎを炒める。火が通ったらAを回し入れ、フライパンを軽く揺すって味をなじませ、盛りつける。

夏野菜のサンラータン風

酸味と辛味をきかせたスープです。

エネルギー : 62kcal

塩分 : 1.6g

材料 (2人分)

- オクラ…4本
- みょうが…1個
- 豆腐…1/6丁
- 鶏がらスープの素…小さじ1/2
- 醤油…大さじ1
- 酒…大さじ1
- ラー油…小さじ1
- 酢…大さじ1
- こしょう…少々
- 水…300ml



作り方

- 1 オクラは、熱湯でさっとゆでて水にとる。冷めたらへたを切り、小口切りにする。みょうがは千切りに、豆腐はサイコロ状に切る。
- 2 鍋にBの材料を煮立てて①の具を加え、再び煮立ったら出来上がり。

豚肉や大豆製品には、糖質の代謝や疲労回復に関係するビタミン B1が多く含まれています。ご飯やパンなどの糖質をスムーズにエネルギーに変えてくれます。また、にんにくやねぎなどのアリシンを含む食材と一緒に食べるとビタミン B1 の吸収がよくなります。
生姜などの香味野菜には食欲増進作用があり、酢やレモンなどに含まれるクエン酸には疲労回復効果があるので、夏場の暑い時期もさっぱりと食べられます。



第3回 あおばな心臓病セミナー(無料)

大切な心臓を守るため、ぜひご参加ください。

講演1

心不全の診断と治療
～お元気ですか？あなたの心臓～
講師：松本 武洋(循環器内科医師)

講演2

減塩生活でカラダいきいき！
講師：布施 順子(管理栄養士)

日時 7月22日(金)
15:00～16:00
場所 9階 あおばなホール
対象 興味のある方はどなたでも
お問合わせ 医療秘書担当 谷・田中
TEL 077(563)8866 (代)

※都合により変更する場合がございますのでご了承ください。



糖尿病教室(無料)

約1時間を
予定しています

毎月、糖尿病に関する公開講座を開催しています。

講演1

怖い合併症・血管/心臓【心血管合併症】
講師：藤井 応理(循環器専門医)

講演2

インスリン注射って？
～疲れたすい臓のお助けマン！～
講師：橋本 美穂(薬剤師)



日時 7月29日(金)
15:00～16:00頃
場所 9階 あおばなホール
対象 興味のある方はどなたでも
お問合わせ 医療秘書担当 寺本・瀧野
TEL 077(563)8866 (代)

※都合により変更する場合がございますのでご了承ください。



サマーフェスティバル2016

子どもたちに医療の体験や見学を通し、人の命を守る『医療』という仕事に少しでも興味を持ってもらい、命の尊さを感じていただくことを目的としています。
一部の食べものやイベントはチケット交換制(有料)です。(収益金は草津市を通じて社会福祉施設等へ寄付します)

日時 7月30日(土)
14:00～17:00
場所 1階エントランスホール
及び 2階外来あたり

イベント内容の詳細は、病院ホームページまたは院内のチラシをご確認ください。



糖尿病教室(無料)

約1時間を
予定しています

毎月、糖尿病に関する公開講座を開催しています。

講演1

怖い合併症・歯【歯周病】
講師：西村 一行(歯科口腔外科医師)

講演2

運動して血糖値を下げよう！
『継続して運動するためのコツ』
講師：山本 敏雄(理学療法士/日本糖尿病療養指導士)

日時 9月30日(金)
15:00～16:00頃
場所 9階 あおばなホール
対象 興味のある方はどなたでも
お問合わせ 医療秘書担当 寺本・瀧野
TEL 077(563)8866 (代)

※都合により変更する場合がございますのでご了承ください。

ラオス人民民主共和国における 国際医療交流活動について



5月1日から5月11日まで、当院の医師3名(副院長 卜部 諭医師、小座本 雄軌医師、鳥井 裕子医師)がラオス人民民主共和国にて国際医療交流活動(腹腔鏡下手術ビデオレクチャーや手術の検討会等)を行いました。

現地の医療スタッフへ日本の医療技術を伝え、ラオスの医療が充実したものとなるよう、精一杯活動してきました。

※ラオスでは、医療スタッフが不足しており、医師や看護師の国家資格もないため、現在活躍している医療スタッフのレベルにも差があります。貧困層の住民が十分な医療が受けられないことや乳児死亡率が高いこと、感染症や交通事故により命を落とす方が多く、問題となっています。



NEW FACE / 新任医師紹介



救急科 医師
しづや しほこ
澁谷 志保子

<専門>
救急外科・内科、集中治療、
一般放射線・IVR、
オートプシーイメージング、
法医学など

救急疾患の診断・治療はもちろんの事、一人一人の患者さんにとって最適な医療が提供できるようにベストを尽くします。



新しい医療機器を導入しました。

骨密度測定器、血管撮影装置を新しく導入しました。
従来の医療機器よりも精密に検査を行い、被ばくの低減も可能であるため、患者さんにより良い医療を提供することができます。



(C) HOLOGIC, INC.